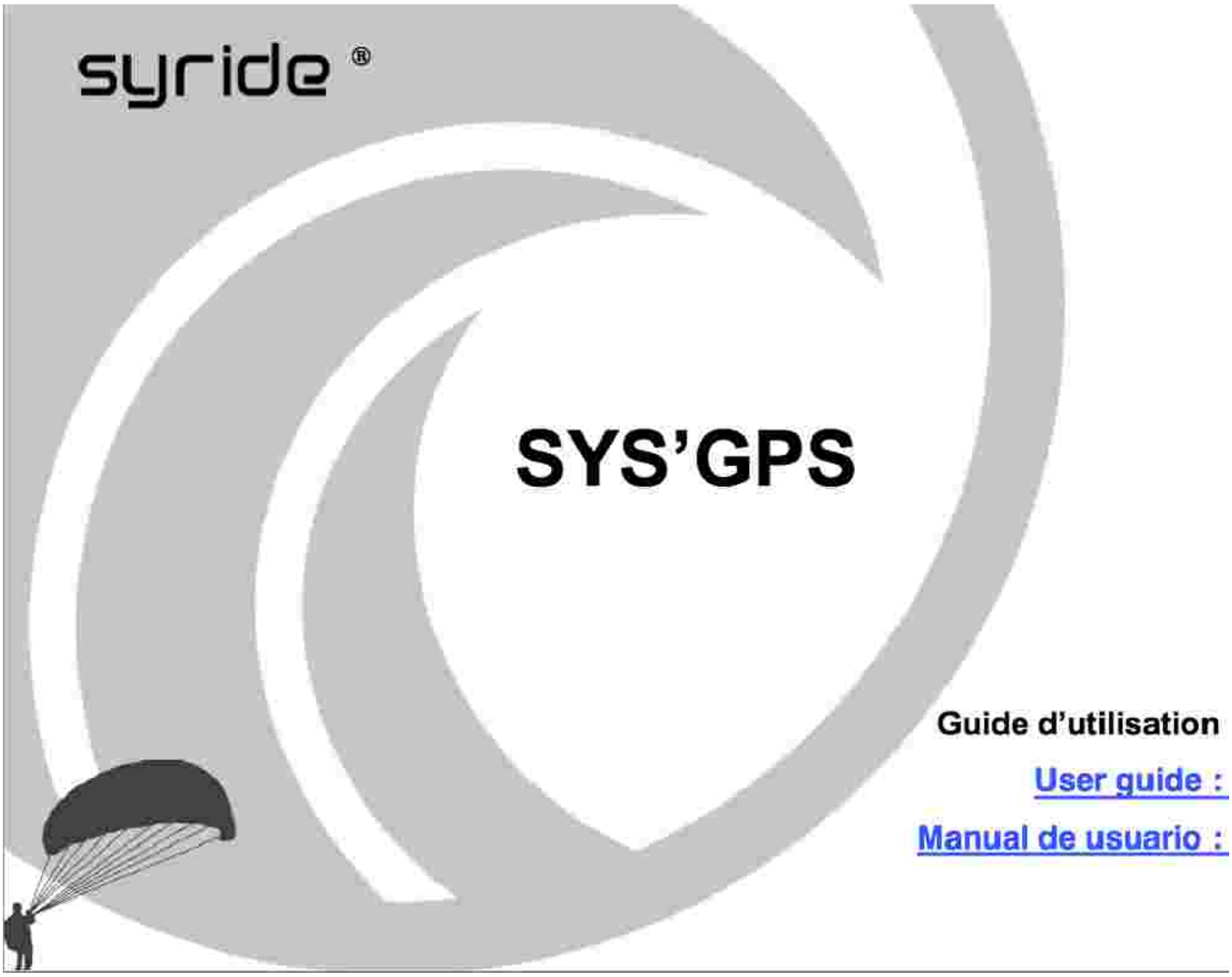
シス-GPS 取扱説明書



syride

http://www.syride.com

㈱スポーツオーパカイト 東京都千代田区神田小川町3丁目24ー15 Tel:03ー3291ー0802 http://www.opa.co.jp/
御注文・お問い合わせは、板敷ショップ itajiki@opa.co.jp Tel:0299ー44ー3642 Fax:0299ー44ー3939 2014.4

はじめに

シライドの仲間へようこそ！　最新のテクノロジーを満載した超軽量インストルメントであるSYS-GPS は、パイロットの上達を促し、また、その上達ぶりを記録してくれます。さらにユニークで詳細なオンライン・フライト・ログブックを利用することもできます。SYS-GPS でパラグライダーの楽しみが新たな次元に進化しました！

SYS-GPS とともにフライトするシライドの仲間は、このインストルメントの絶え間ない発展と革新にとって大切なキーパーソンでもあります。SYS-GPS に内蔵された数々のセンサーは、将来の機能の発展を可能にしているのです。さらなる進化のために、あなたのご意見、ご希望をお知らせ下さい。

SYS-GPS の機能については、シライド社のウエブサイト http://paragliding.syride.com の[INFO]ページにより詳細な情報を掲載していますので、ぜひご覧下さい。

シライド社は、皆様の素晴らしいフライトを願っています。

目次

I.　計器の基本操作

＊起動

SYS アルチの起動には、中央の赤いボタンを押して下さい。
起動画面に続いてメイン画面（1番画面）が表示され、
数秒間の起動モードが続きます。



（起動画面）

＊画面の切り替え

右または左のボタンを押していくと、6つの画面が表示されます。
各画面の右上すみに画面番号が表示されます。
右ボタンで正順、左ボタンで逆順に画面が移ります。



（1番画面）



（2番画面）

1番画面：　フライト用のメイン画面
2番画面：　もう一つのフライト用画面で、異なる飛行情報の表示に使い分ける事ができます。
3番画面：　GPS から得られる現在の位置情報
4番画面：　記録されたフライトのリスト（サブ画面あり）
5番画面：　計器の基本情報と基本設定（サブ画面あり）
6番画面：　電源を切る。







＊電源を切る

電源を切るには、6番画面を表示して中央ボタンを押してください。

II.　基本情報と基本設定

「5 番」画面ではこの計器の基本情報を見ることができるほか、音量・上昇と下降のバリオ音鳴り出し値・バックライト点灯選択（の基本設定を行うことができます。
5番画面を表示させて中央ボタンを押すとサブ画面になります。
右または左のボタンを押して6つのサブ画面を表示していってください。



（5 番画面トップ）



1. 5 番画面の最初のサブ画面には、バッテリー残量・メモリー残量・ソフトバージョン番号・シリアル番号の基本情報が表示されます。

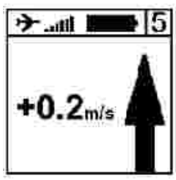
2. 次に右ボタンを押すと音量設定のサブ画面が表示されます。中央ボタンを押していって（音量 OFF→小→中→大→）を選んでください。





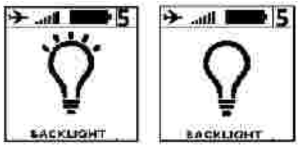


3. さらに続く2 つのサブ画面でバリオの上昇および下降に対する鳴り出しの設定が行えます。中央ボタンを押していって、希望する数値を選んでください。





4. その次の画面で画面のバックライトの入／切を設定できます。
注意 :バックライトは電源作動時間を短くします。



5. その次のサブ画面を表示させて中央ボタンを押すと、
メイン画面 1 番画面)へ復帰します。



III. 細かな設定

＊ SYS PC ツールの取得

「SYS PC ツール」の最新版を、以下のウエブサイトからご自分の PC へダウンロードして下さい。

http://paragliding.syride.com/support.php

上記 URL は、Syride 社のホームページの上バーの INFO」です。ここに入って、PC 画面右下の software」の希望するOS 名をクリックして下さい。



1. 指示に従って、インストールして下さい。
2. インストールが完了するとタスクバーに SYS 社のアイコンが出てきて、SYS-GPS が接続されているかどうかを判別できます。
3. このソフトは PC の OS によって自動的に起動します。

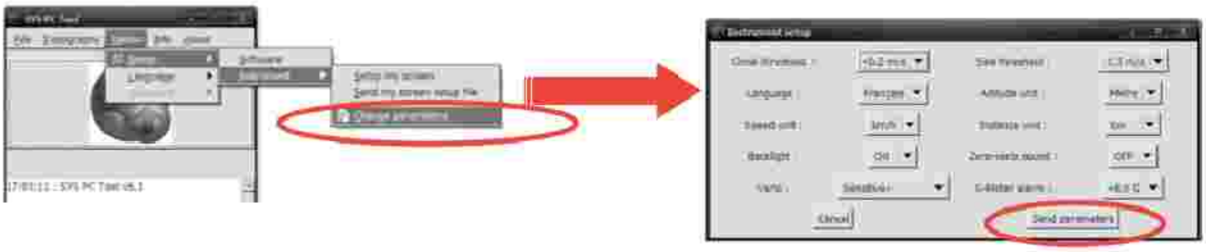


＊ SYS-GPS の細かな設定作業には

1) SYS-GPS の電源を入れてからPC に接続してください。
2) SYS PC ツールの Option」→ Setup」→ Instrument」と入っていき、 Change parameters」をクリックしてください。
3) 希望する設定値を変更してください。設定値の選択肢は以下のとおりです。＊印は 5 番画面の基本設定でも変更可能のものです。下降音鳴り出しは 5 番画面では off や－6.0m/ sも設定可能です。

上昇音鳴り出し＊	(+0.2～1.9m/ sの 18 段階)	下降音鳴り出し＊	(-0.5～5.5m/ sの 11 段階)
言語	仏 ·英 ·西 ·独)	高度単位	メーター ·フィート)
速度単位	(km/ h ·mph ·kts)	距離単位	(km ·マイル)
バックライト＊	ON ·OFF)	ゼロリフト音	ON ·OFF)～沈下率ゼロの音
バリオ感度	12 段階)	G 遠心力警告	(+1.5～8.1G の 67 段階)

4) Send parameters」をクリックしてください。



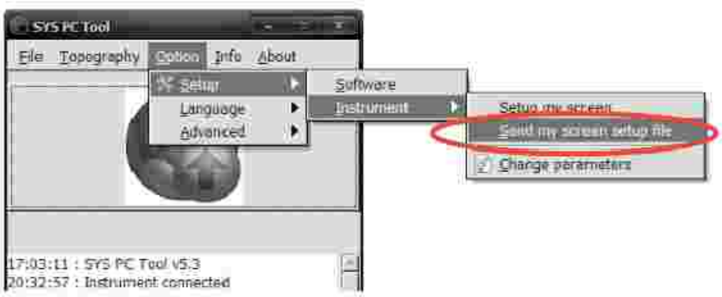
Ⅳ． 表示画面のカスタマイズ

SYS-GPS の 1 番画面と2 番画面の表示内容を自由に設定することができます！
便利な SYS PC ツールを使い、以下の内容の表示させたい情報とその位置、表示サイズ、表示単位を選択してください。

Altitude	高度
Altitude history	高度変化グラフ
Gain	テイクオフからの積算獲得高度
Distance	テイクオフからの距離
Floor height	対地高度
Speed	対地速度
Vario	バリオ上昇率
Vario history	バリオ上昇率の変化グラフ
G-Meter	遠心力
Glide ratio	対地滑空比
Heading	進行方位
Temperature	気温
Local time	時刻 PC 接続時に自動設定）
Flight duration	飛行時間
Graphical wind informations	風向・風速の絵表示
Wind direction	風向 定常センタリング時に判定）
Wind speed	風速 定常センタリング時に判定）

表示画面のカスタマイズには：

1) PC 上に http://parapente.syride.com/SSCTool/ を呼び出すか、SYS PC ツールの Option」→ Setup」→ Instrument」→ Setup my screene」とクリックして行ってください。こうして出た画面の右側の SYS 'GPS を選択してください。
2) 左側の 1 番画面設定と右側の 2 番画面設定のそれぞれについて、表示させたい情報とその表示サイズ、表示単位を選択し、画面上の希望する位置へドラッグ＆ドロップしてください。あるいはその下にある例の中から選択して下さい。
3) 設定ファイルをPC 内へダウンロードしてください。作成画面下の Download your setup file」あるいはその下の例から選択する場合はそれぞれの例の右側の Download」ボタンをクリックして下さい。
4) SYS-GPS の電源を入れ、USB ケーブルで PC へ接続してください。
5) SYS PC ツールの Option」→ Setup」→ Instrument」→ Send my screen setup file」とクリックして行ってください。
6) ダウンロードしたばかりの設定ファイルを選択してください。
7) SYS-GPS の接続を外せば作業完了です。



V． 対地高度表示の準備

SYS-GPS はシライド社のウエブサイトから地形データをあらかじめ取り込んでおくことで、フライト中の対地高度を表示することが可能です。このデータは、2000年にスペースシャトル・エンデバーが行ったシャトル・レーダー・トポグラフィー・ミッションで記録されたものです。
http://en.wikipedia.org/wiki/Shuttle_Radar_Topography_Mission 参照）

SYS-GPS に地形データを取り込むには：

1) SYS PC ツールを使って専用ページへ入ります。 Topography→Download a topography」
   あるいは、シライド社のウエブサイトからも入ることができます。 http://paragliding.syride.com/XRTM/
2) 世界地図が表示されるウエブページが出てきます。データを取得したいエリアへ赤い長方形の枠を移動させてデータをダウンロードしてください。
3) SYS-GPS の電源を入れ、USB ケーブルで PC へ接続してください。
4) SYS PC ツールへ戻り、 Topography→Send a topography」からダウンロードしたばかりのファイルを選択してください。



注意： この対地高度データは± 20mの誤差を含みます。さらに GPS 自体の計測誤差も数m加わります。
対地高度をSYS-GPS に表示させるには、前章の表示画面のカスタマイズ設定の中に対地高度が選択されていなければなりません。

VI. フライト中の画面

フライト用のメイン画面は 1 番画面ですが、右ボタン 1回押しで 2 番画面に切り替わります。1番画面へ戻るには左ボタン 1回押しです。どちらも前々章でカスタマイズ選択された情報が表示されます。

＊ 作動中のバリオ音の入／切
1 番画面あるいは 2 番画面を表示中に中央ボタンを押すと、バリオ音の入／切を行えます。これは移動のグライドやランディングで集中したい時に役立ちます。









フライト中の 1番画面）　フライト中の 2番画面）　フライト中にバリオ音の入／切を行えます）

＊ GPS ポジションの表示
3番画面を表示させて中央ボタンを押すと、その時点での GPS ポジションが保存されます。その後の 3番画面には、保存したポイントからの高度差と距離、現在の緯度・経度・GPS 高度が表示されます。

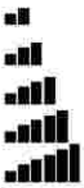




＊ GPS電波状態のアイコン
SYS-GPSを長期間使用しなかったり、大きく移動した場合、GPSが充分な電波を拾うまで最大 10分間かかります。GPSが少しでも電波が拾いやすいよう、屋外にいてください。
GPSの起動までの余裕を見て、テイクオフの数分前にはSYS-GPSの電源を入れてください。

GPS電波の取得状況は、表示画面の上の中央付近のバーグラフで示されます。





点滅＝GPS作動せず
低レベル信号
中レベル信号
高レベル信号
適正レベル信号

＊ 記録作動アイコン
画面左上すみの飛行機のアイコンは、フライトが記録中かどうかを示します。記録の開始は、バリオがフライトに入ったかどうかを自動的に判定して行います。



VII. 記録したフライトの表示と削除

1. 4番画面を表示し、中央ボタンを押してフライトリストを表示します。

2. 右または左のボタンを押していくと、フライトごとの情報とともに記録されたフライトを全て見ることができます。右ボタンで正順、左ボタンで逆順に画面が移ります。

3. フライト記録の削除には、中央ボタンを押すと再確認画面が出ますので、右ボタンで決定して下さい。削除をしない場合は左ボタンを押してください。)



1. フライトリスト)



2. フライト記録No.1の情報)



3.削除作業画面)

4. 最も古いフライト記録の次にくる終了画面が表示されているときに、中央ボタンを押すと、メイン画面 1番画面)へ復帰します。



VIII. 計器の取り付け

1. SYS-GPS をライザーへ取り付ける事をお勧めします。 2 本のベルクロによってあらゆるライザーへの取り付けが可能です。

2. ライザーへの取り付けに当たっては、スピードシステムなどのラインを挟まないように注意して下さい。ライザーへ取り付ける事で、飛行中もブレークを離すことなく計器を操作する事ができます。

3. ほかにもベルクロによって、パイロットの手首や 延長パーツを使う事で)太股にも取り付ける事ができます。

4. 取り付けには、付属のセーフティーラインを使用して下さい。





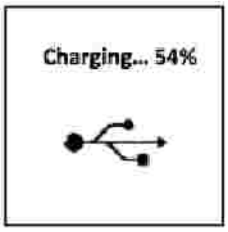
IX. バッテリーの充電



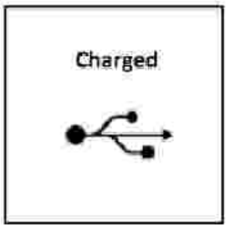
1. SYS-GPS の充電は、USB ケーブルで PC へ接続するだけです。

2. SYS-GPS の画面に Charging…」(充電中 ・・・)と充電パーセンテージの表示が出ます。満充電には最大 2 時間かかります。

3. 満充電に達した時には、 Charged」 充電完了)の表示が出ます。



(充電中の画面)



充電完了の画面)

4. 充電を停止するには USB ケーブルを外してください。SYS-GPS のバッテリーはリチウムイオン電池ですので、充電を途中で中止してもメモリー効果は発生しません。

5. SYS-GPS を USB チャージャーに接続すると、SYS-GPS の電源が入っていなくても、内蔵バッテリーへの充電が開始されます。

X. 警告とリセット

フライト中にバッテリー残量が過少になるか、メモリー残量が過少になると、障害を防止するためにフライトの記録機能は自動的に停止します。その場合、画面左上の飛行機のアイコンが点滅するとともにアイコンに×印が付きます。飛行機のアイコンに上記の変化があったときは、メモリー残量、バッテリー残量をチェックして下さい。

G メーターが設定値 (V. 細かな設定」で設定できます。初期値は 2.5G です)を越える G を検知すると、高くうるさい警告音が鳴ります。 バリオ音を鳴らさない設定にしていても、この警告音は鳴ります。)

万が一ボタンを押してもSYS-GPS が反応しなくなった場合は、USB ケーブルで PC へ接続し、その状態で SYS-GPS の裏側にある穴の中にあるリセットボタンを針で押してください。



XI. フライト記録の転送

1. まず、あらかじめ SYS PC ツールがご自分の PC にインストールされてていることを確認して下さい。



2. SYS-GPS の電源を入れ、UCB ケーブルで PC へ接続して下さい。

3. SYS PC ツール画面の Option 」→ Setup」→ Software」とクリックして下さい。



4. Syride.com のアドヴァンスト・フライト・アナライザーを使用するためには、Syride アカウント(http://paragliding.syride.com)に登録したご自分の email アドレスとパスワードを入力して下さい。あるいは、 Keep a copy of IGC files on my computer」IGC ファイルのコピーを PC に保存) をチェックし、 OK」をクリックして下さい。



5. Download recorded flights」 記録したフライトをダウンロード) のボタンを押すと、フライト記録が SYS-GPS からオンライン・フライト・ログブックへ送られます。



6. Syride のウエブサイトのご自分のプロファイルに入り、フライト情報を入力して下さい。このフライトの公開を希望しない場合は、 visible」ボックスをクリックして下さい。

7. フライトエリア flight site」を選択あるいは新設してください。



8. Syride のサーバーが送られてきたフライトを分析するのに数分間かかります。

ウエブページを再読み込みしてみて下さい。場合によっては、データの分析を手作業で行い、ウエブページへ反映されるまで最大 24時間かかることもあります。

9. フライトページでは、ロケーション、時間ごとに自分自身のフライト記録を見ることができます。



ほかのパイロットと記録を比較することもできます。



XII. 基本設定値

SYS-GPS にあらかじめ設定されているパラメーターは以下のとおりです。

- 1分以下のフライトは、SYS PC ツールでは自動的に削除されます。
- 対地速度も沈下率も検知されない ゼロm/s)場合、SYS-GPS は自動的に電源が切れます。
- フライトと判断されている場合を除き、20分以上の間、何の変化も起こらなかった場合は、電源が切れます。
- SYS-GPS に記録される飛行時間は合計 75時間までです。飛行本数としては 30本までです。
- G メーターの警告の初期設定値は、2.5G です。
- 時刻の設定は、GPS で世界時刻を取り込み、接続した PC 内のタイムゾーンを適用します。

XIII. ご使用に関して

- GPSの起動までの余裕を見て、テイクオフの数分前にはSYS-GPSの電源を入れてください。
- フライトに当たっては、必ず脱落防止のセーフティーラインを使用して下さい。
- 無線機のアンテナからの電磁波によって GPS 信号が乱される場合があります。
- SYS-GPS 本体の温度が高い状態でとても気温が低い中を飛ぶと、画面内に霧が発生する場合がありますが、数分で消散します。
- バックライトの使用は必要な時だけにして下さい。バッテリー持続時間が減少します。
- SYS-GPS を出荷時の初期設定値に戻すには、SYS PC ツール Option」→ Advanced」で行えます。記録されているフライトは削除されます。
- SYS-GPS を USB チャージャーに接続すると、SYS-GPS の電源が入っていなくても、内蔵バッテリーへの充電が開始されます。

ご使用前の注意：

SYS-GPS は精密機器ですので、厳しい環境条件に放置しないよう、注意して下さい。柔らかい布で定期的に清掃し、丁寧に扱って下さい。SYS-GPS 本体は開けないで下さい。本体の封印をかねて、ネジは一定の程度にしっかりと止められています。本体を開けた場合は、保証の対象外となります。万が一、本体内部に水が入った場合は USB ケーブル接続口を開けて通気し、乾燥させてから通電して下さい。機能の劣化を招く恐れがありますので、極端な高温あるいは低温にさらさないで下さい。不必要に日射にさらし続けないで下さい。製氷室にも入れないで下さい！南極でのソアリングも保証外となります。
テイクオフの前に SYS-GPS の取り付けに問題がないか、確認して下さい。テイクオフも含めフライト中に脱落破損してもシライド社は責任を負えません。
シライド社ではパイロットからのフィードバックを重視しています。特に機器の反応に改良点がある場合は、シライド社までお知らせ下さい。

バッテリー：
SYS-GPS はリチウムイオン電池を使用しています。50°C以上の高温にさらさないで下さい。発火、爆発、焼損の恐れがあります。SYS-GPS は作動中に 50°C以上の高温を検知すると、警告を発します。
万が一バッテリーの液漏れが発生して漏れ出した液に触れた場合は、水で充分に洗い流し、すぐに医師に相談して下さい。安全およびバッテリー寿命の維持のため、充電は適正な温度環境で行って下さい。標準的な作動に適した環境温度は、0°C～45°Cです。また、短期間の保管では、-20°C～60°C、長期間の保管では、-20°C～25°Cで保管してください。
バッテリーを取り外したり分解したりしないで下さい。ユーザーが交換することはできません。バッテリーに問題がある場合はシライド社にご連絡ください。

電池に関する注意：
この製品に使用されているリチウムイオン電池および電子回路は、一般家庭ゴミとして廃棄せず、各自治体の定めに応じた適切なリサイクルに御協力下さい。
付属の USB ケーブル（規格：５V DC 500mA）以外のもので充電しないでください。

CE マーク：
この製品は、ヨーロッパ諸国で必要とされる、住居用、商用および軽工業用の CE マークの基準に合致しています。

この取扱説明書について：
この取扱説明書の作成には充分に注意していますが、製品の改良にともなう情報の更新が反映されていない場合があります。この取扱説明書の内容は予告なく変更されるものです。シライド社はこの取扱説明書の内容あるいはその使用に起因する事故あるいは結果として発生した損害において、この取扱説明書の内容における脱落や技術的あるいは編集上の誤りに対しても責任を負うものではありません。

SYS-GPS とともに、素晴らしいフライトをお楽しみください！

